

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

1. 平成 28 年熊本地震に伴う災害廃棄物の仮置場を熊本港に設置  
～熊本市内の損壊家屋等撤去・解体廃棄物の二次仮置場として決定  
【国土交通省 平成 28 年 7 月 28 日】

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. 循環資源技術説明会の開催について（ご案内）
2. H28 第 1 回循環資源利用促進部会の開催について（8 月 23 日）
3. 糸魚川市 PRESS RELEASE（熊本地震 災害廃棄物受入）について

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. コンクリ工学会、未利用資源の利用拡大へ提言
2. 徳山下松港新南陽処分場の容量拡大、ドレーン材で圧密促進へ
3. 北九州港新門司地区航路整備で第 3 次浚渫工事

=====

◇先週・今週の報道発表

1. 平成 28 年熊本地震に伴う災害廃棄物の仮置場を熊本港に設置  
～熊本市内の損壊家屋等撤去・解体廃棄物の二次仮置場として決定～

詳細は下記をご覧ください

[http://www.mlit.go.jp/report/press/port06\\_hh\\_000131.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/port06_hh_000131.html)

【国土交通省 平成 28 年 7 月 28 日】

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

1. 循環資源技術説明会の開催について（ご案内）

下記のとおり技術説明会を開催します。

詳細については、添付ファイルをご覧ください。

なお、技術説明会は国や港湾管理者等の担当者を対象としていますが、一般会員の方の参加も可能です。添付の参加申込書に所定事項をご記入の上、申し込みください。

日時：平成 28 年 9 月 12 日（月）13：30～16：30

場所：JMS アステールプラザ（広島市中区民文化センター）

4F 大会議室

2. H28 第 1 回循環資源利用促進部会の開催について（8 月 23 日）

平成 28 年度第 1 回循環資源利用促進部会を、  
下記の通り開催致します。

日時：平成 28 年 8 月 23 日（火）15 時 30 分から 17 時  
会場：みなと総合研究財団 3 階会議室

出欠について、8 月 9 日（火）までに事務局へご連絡いただきます様  
お願い致します。

### 3. 糸魚川市 PRESS RELEASE（熊本地震 災害廃棄物受入）について

糸魚川市より熊本地震の災害廃棄物受入についての情報が届きました  
たのでお知らせします。

姫川港においては、熊本地震の早期復興を支援するため震災廃棄物の  
受け入れを開始（詳細は別添プレスリリースをご覧ください）  
8 月以降も震災廃棄物（木くず）を受け入れる予定であり、今後とも、  
被災地の速やかな復旧と復興の一翼を担って行く。

=====

## ◇リサイクルポートに関連する最新の情報

### 1. コンクリ工学会、未利用資源の利用拡大へ提言

日本コンクリート工学会は、コンクリートにおける未利用資源の  
利用拡大に関する提言をまとめた。石炭灰やスラグ等といった産業副  
産物の利活用に関する技術開発・利用促進には制度・体制・市場のあ  
り方など解決すべき課題が多くあるとし、推進すべき方策等を示した  
12 の提言を掲げている。同提言は「コンクリートにおける未利用資源  
の利用拡大に関する特別委員会」において検討してきた。

12 の提言の一つには、▽限りある天然資源を最大限有効利用する、  
といった項目を掲げている。海外から輸入した貴重な素材から副産さ  
れる資源（鉄鋼スラグ、非鉄スラグ、石炭灰等）を利用することが持  
続可能な社会形成といった観点から重要であると指摘。

また利活用にあたっては、資材、材料としての高い品質を要求せ  
ず、その材料を使用した製品・構造物としての出来形（利用有姿）の  
性能を想定した上で、材料の品質を評価するような考え方を導入する  
など、新たな未利用資源の品質の評価方法、について検討を進める必  
要があると提言している。そしてコンクリート材料だけでなく地盤材  
料など分野横断的で包括的な利活用推進、広い視野に立脚した循環資  
源の考え方導入、等が求められるとしている。

【港湾空港タイムス】

-----

### 2. 徳山下松港新南陽処分場の容量拡大、ドレーン材で圧密促進へ

中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所は、徳山下松港新南陽  
地区の直轄土砂処分場において場内の圧密沈下を促進する工事を行  
い、浚渫土砂受入容量の増大を図る。今年度に外周護岸内側に沿って  
重機を入れる通路としての表層固化処理を行うと共に、処分場内部に

ドレーン材を打つ工事も一部実施する。29年度には処分場全域の圧密促進を図る方針。

徳山下松港新南陽地区の直轄土砂処分場（約21ha）は約290万立方mの受入容量があり、25年度から新南陽や徳山地区の航路・泊地浚渫から発生する土砂の受入を開始している。ただこれまでの受入で容量の限界に近付いており、今年度分を受け入れるとほぼ満杯になる。

このため同処分場の容量の受入容量を増やすこととし、今年度と来年度で内部の嵩下げのための工事を行う。

圧密促進工事によって処分場内部は約4m程度沈下するものと予測しており、概ね約50万立方程度の容量拡大を見込んでいる。

【港湾空港タイムス】

---

### 3. 北九州港新門司地区航路整備で第3次浚渫工事

九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所は、北九州港新門司地区の航路水深10m（暫定水深8m）の第3次浚渫工事の入札手続きを進めている。浚渫土量は約8万立方mで、浚渫土はバージアンローダーを通じて苅田沖土砂処分場第3工区に土捨てする。

新門司地区航路は水深10m幅員400mが港湾計画に位置付けられている。現状は暫定水深8m幅員400mの確保に向けた取組を進めて来ており、28年度事業で同暫定水深をほぼ確保できる段階まで進捗している。

今回工事は同整備計画の一環として、現在施工中の今年度第2次浚渫エリアの隣接部。航路の東側縁部分を対象に、浚渫幅約80m、長さ約420mの範囲を浚渫する。

【港湾空港タイムス】

発行者：RPPC 広報部会  
部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）  
部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）  
木村 竜也 東京都  
梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター  
紫牟田 和隆 光和精神（株）  
新谷 聡 りんかい日産建設（株）  
リサイクルポート推進協議会 事務局  
一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木  
URL：[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp) E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。

平成28年 7月 20日

関係者各位

リサイクルポート推進協議会

リサイクルポート推進協議会 循環資源技術説明会の開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜びを申し上げます。

さて、リサイクルポート推進協議会（RPPC）（※）では、港湾・空港等整備において、リサイクル製品（無機系循環資源）の活用を促進するため、循環資源利用促進部会を設置し、リサイクル製品の特徴や使用実績等をまとめた「リサイクル製品便覧」を作成し、普及・広報活動を行っています。

また、国土交通省港湾局は、平成27年12月に、「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン」を改訂し、港湾整備事業等においてリサイクル製品の利用促進を図ることとしております。

これらを背景として、リサイクルポート推進協議会では、国や港湾管理者等の港湾・空港等整備に携わる担当者を対象として、「循環資源技術説明会」を開催することといたしました。

最近のリサイクル製品技術、材料開発の状況、活用事例等を報告する機会として下記のとおり説明会を開催しますので、多数のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

※ リサイクルポート構想を推進するための官民共通のプラットフォームとして、民間団体や民間事業者、リサイクルポートに指定された港湾管理者と関連する地方自治体を会員とする任意団体。

記

1. 開催日時及び場所

日時：平成28年 9月12日（月）13：30～16：30

※プログラムについては、別添資料を参照下さい。

場所：JMS アステールプラザ（広島市中区民文化センター）4F 大会議室

住所：〒730-0812

広島市中区加古町4-17

TEL：082-244-8000

2. 問合せ先

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団 もとの本野、ちさき清水、ちさき菅木

TEL：03-5408-8296 FAX：03-5408-8741

E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

# 平成28年度 第1回

## リサイクルポート推進協議会 循環資源技術説明会プログラム案

リサイクルポート推進協議会  
循環資源利用促進部会

日 時：平成28年 9月12日（月）13：30～16：30

会 場：JMS アステールプラザ（広島市中区民文化センター）4F 大会議室

【プログラム】	所用時間（分）
(1) ごあいさつ	(5)
リサイクルポート推進協議会 循環資源利用促進部会長 鉄鋼スラグ協会 技術部長 東 和彦	
(2) 鉄鋼スラグを用いた海域環境修復技術および地盤改良技術について	(30)
新日鐵住金の事例紹介（カルシア改質技術、エコガイアストーン）（仮称） 新日鐵住金(株) スラグ・セメント事業推進部市場開拓室	
(3) 鉄鋼スラグを用いた海域環境修復技術および地盤改良技術について	(25)
JFE の事例紹介（水和固化体、底質浄化技術）（仮称） JFEスチール(株) スラグ事業推進部	
(4) 港湾・空港工事における非鉄スラグ利用技術について（仮称）	(25)
日本鋳業協会 スラグ委員会	
(休 憩)	(15)
(5) 石炭灰活用について（仮称）	(25)
日本フライアッシュ協会	
(6) 溶融スラグ再資源化の現状について（仮称）	(25)
(一社)日本産業機械工業会	
(7)全体を通じた質疑	(30)
(閉 会)	

FAX送付先：リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団 もとの本野、ちさき清水、むぎき菅木

FAX : 03-5408-8741

## リサイクルポート推進協議会 循環資源説明会 FAX申込書

### 【日時】

平成28年 9月12日(火)

13:30 ~ 16:30

### 【会場】

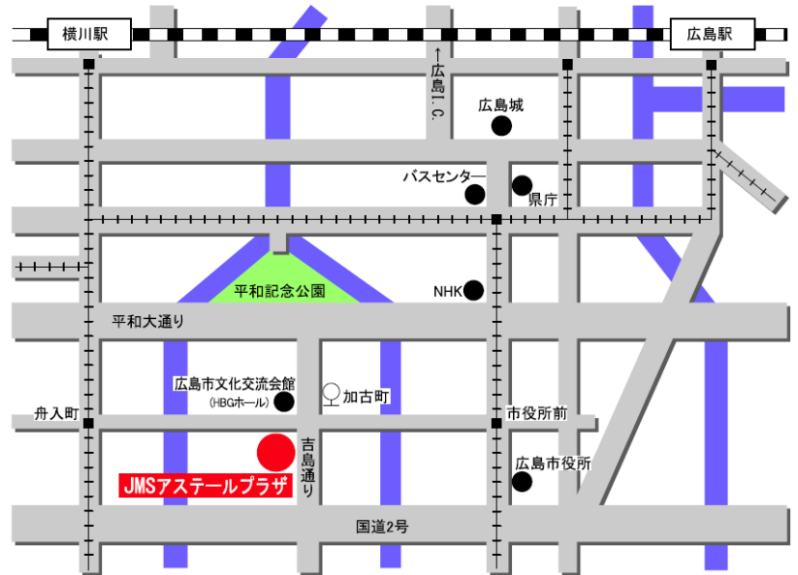
JMSアステールプラザ4F 大会議室  
(広島市中区民文化センター)

〒730-0812

広島県広島市中区加古町 4-17

TEL : 082-244-8000

### 交通案内



### 【参加者記載欄】

下記に必要事項をご記入の上、**9月2日(金)までに**

FAX (03-5408-8741) またはメール ([rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)) にご返信下さい。

貴団体名		
(代表者)	ご所属・ご役職	
	ふりがな 氏 名	
参加者	ご所属・ご役職	
	ふりがな 氏 名	
	ご所属・ご役職	
	ふりがな 氏 名	
ご住所		
TEL		
FAX		



## 姫川港は、熊本地震の早期復興を支援します。 ～震災廃棄物の受入実施～

熊本地震により、九州地方において膨大な量の震災廃棄物が発生しました。

姫川港では、周辺住民の皆さまのご理解のもと、震災廃棄物（木くず）の受け入れを開始しておりますが、下記日程により第2船目が決定しました。今後も廃棄物の処理を通じて積極的に震災地の早期復興に協力して参ります。

期 日	平成28年7月25日（月）、26日（火）
時 間	入港時間は未定（悪天候により遅延する場合があります）
場 所	姫川港
受入量	約1,000トンの災害廃棄物（木くず）
用 途	明星セメント株式会社糸魚川工場において、バイオマス燃料、セメント副原料へのリサイクル処理に活用



全国リサイクルポート  
推進協議会 会長  
糸魚川市長 米田 徹

リサイクルポート推進協議会は、昨年9月に環境省主催の、D.Waste-Net（災害廃棄物処理支援ネットワーク）に参画しました。

姫川港は、全国リサイクルポート推進協議会（会長 米田糸魚川市長）に加盟しており、災害廃棄物処理主体となりえる自治体の立場や、船舶等による広域輸送を担う立場など、多様な視点で協力していきたいと考えております。

### 【お問い合わせ】

部署名 商工農林水産課 担当者名：水島大輔 環境生活課 担当者名：木嶋良洋  
〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮 1-2-5  
TEL：025-552-1511(代) FAX：025-552-8955 \*土・日・祝日及び年末年始は除く  
Mail：[担当\\_kigy@city.itoigawa.niigata.jp](mailto:担当_kigy@city.itoigawa.niigata.jp) Web：<http://www.city.itoigawa.lg.jp/>